



じりつかつどうしえんぶ  
自立活動支援部インフォメーション

れいわねんがっこう  
令和3年2・3月号

あいちけんりつおかさきろうがっこう  
愛知県立岡崎聾学校

# でんでんむし

こんねんとほんこうきんむすがせんせいしょうちゅうこうこうだいがくたいけんき  
今年度から、本校で勤務をされている菅先生に、小、中、高校、大学での体験を聞きました。どの  
ようにコミュニケーションをとっていたのでしょうか？また、どのように勉強をして学力を高めてい  
ったのでしょうか。皆さんの参考になれば幸いです。

## 1. 聾学校での幼・小・中・高時代

ようちぶきんぱつげんきいっばいなこでかなり自立っていたと聞いています。とにかくやんちゃで悪いこ  
とばかり（牛乳瓶を投げつける）していました。そのときは毎回鬼のように厳しく叱られま  
した。しかし、普段は優しく、いつも遊び相手になってくれた先生に憧れを抱いていました。

【コミュニケーション方法】キューサイン

【将来の夢】ウルトラマン（よくウルトラマンのポーズをしていました。）

しょうがくぶべんきょうぎらともだちそとあそびで遊ぶことが大好きでした。低学年では、テレビゲーム（ニ  
ンテンドー64）にはまり、視力が悪くなってしまいました。高学年になってからは、授業  
後、運動場で友達や校長先生と一緒にソフトボールをやって遊ぶことがほとんどでした。

【コミュニケーション方法】キューサイン

【将来の夢】警察官や消防士（人助けをするヒーローみたいな職業に憧れていました。）

ちゅうがくぶべんきょうむすかあたら新しいことを知るといふ楽しみが少しずつ実感できるよう  
になった時期でした。部活動が一番楽しく、そのために学校に通っているような感覚でした。部活  
動はテニス同好会に入っていました。（後に正式な部になりました）健聴者が出るテニス  
大会に出て試合をしました。（負けてばかりでした）勉強面では、数学が大の苦手でテストで  
0点を取ってしまい、家のルールで坊主になったことがありました。

【コミュニケーション方法】キューサイン

【将来の夢】動物園の飼育員（動物を育てる仕事に興味津々でした。）

こうとうぶしょうらいしよくぎょうつおやはなあって、普通科を選択しました。高等部では、  
情報処理やパソコンに関する授業を受けました。他の聾学校から入ってきた友達と関わり  
、相手の主なコミュニケーション方法が手話だったため、自分も手話で話せるようにと手話  
を少しずつ勉強して覚えていきました。

【コミュニケーション方法】手話、指文字、身振り（友達としか分からないオリジナルの身振り  
を考えて楽しむことがありました。）

【将来の夢】1, 2年のときは何にも考えていませんでした。

## 2. 聴こえる人との関わりについて

小学部のときの居住校交流では、筆談でコミュニケーションをとっていました。低学年の頃はゲームで遊び、楽しく交流をしていました。しかし、高学年になり、「筆談がめんどくさい」などと言われ、聞こえの配慮をしてもらえなくなりました。自分ではやってもらえるのが当たり前だと思っていたので、どうしてやってくれないのかと友達に言って、とっくみあいのけんかをしたことがあります。交流はよい経験になりました。聴こえる世界に触れることで、聴こえる人の世界と聴こえない人の世界の違いを知ることができました。小学部3年生から高等部2年生まで地元のテニススクールに通い、聴こえる人とテニスをしていました。聴こえないことで他の人との差があり、迷惑をかけてしまうのではないかと心配した親がコーチに相談したところ「耳が聞こえなくても身体はみなと同じように動けるんだから大丈夫だ。」と答えてもらったそうです。コーチが私に聴こえる人と同じように接してくれたことがうれしかったです。

## 3 大学時代

主にパソコンテイクをしてもらいながら講義を受けました。英語の講義では、周りの人とコミュニケーションをとる内容が多くありました。英語専門の学生にノートテイクを依頼したり筆記優先の講義を探したりして、何とか単位をとることができました。また、愛知教育大学には手話ができる先生がいたので手話を使って話していただいたこともあります。

私が入った課程が特別支援学校教員養成課程であり、ほとんどの人が特別支援学校の教員を目指していたため、みんな手話で積極的に話していました。聾学校とは違い、人数も多くいろいろな考えや見方をもつ友人と話すことで自分の視野が広がりました。

大学に入ってからアルバイトを始めました。自宅の近くにある居酒屋のアルバイトに応募しましたが聴覚障害者は接客が難しいという理由で断られました。その後、すぐ近くの個人レストランでアルバイトを募集していたので、応募しました。聴こえない人だけと積極的によいという理由で採用してもらえました。主に、皿洗いやハンバーグの作り置き、料理の盛り付け等の裏仕事をしました。実家暮らしだったので、生活で困ることはあまりありませんでした。本当は、実家から大学まで遠いため一人暮らしをしたかったのですが、親から許可が下りなかったのが我慢しながら電車やバスで通いました。

## 4. どうして教員を目指したか

きっかけは、高等部2年の担任から「教員になってみないか」と言われたことです。それまでは将来のことを何にも考えていなかったのですが、教員に興味をもつようになりました。幼稚部のときの先生を思い出したり、高等部2年の担任の仕事の様子を見たりして子どもと関わる仕事してみたいと思い、教員を目指すことを決断しました。(他に、親から大学進学は無理だろうと言われ、それを見返し

たいという気持ちもありました。)

## 5. 「国語」の免許を選んだ理由

聴覚障害者にとって、生きていくうえで大きな課題となる教科が国語だと考えたからです。また、他の教科より国語の成績がよかったという点もありましたが、これから更に言葉を身に付けていきたいという気持ちがありました。そして、子どもたちが言葉を学び、思いや考えを伝える力を身に付けていくために、全ての教科を学ぶ基礎となる国語が大切だと思ったからです。

## 6. 教員になってみて感じること

まず思ったことは「学校に戻ったなあ」という感覚でした。しかし、子どもとしてではなく、教員として責任をもち、子どもたちと一緒に日々勉強していく気持ちで働いています。聾学校なので、手話ができる先生方も多く、情報保障もあり、コミュニケーションに関してはすごく助かっています。聴こえないことに対して、もし健聴者と同じように聞こえたら、子どもたちの思いや声をしっかり受け止められていだろうなと思うこともあります。しかし、子どもたちがこれから社会に出ていくために必要な知識や技術、コミュニケーション方法等を身に付けられるように、一緒に悩みながらよく考え、将来の夢を実現し、自分のやりたいことができるよう、同じ障害の先輩としてフォローできたらよいなと思っています。

## 7 どんな教員になりたいか

「人は人を助けることができない、人は人を変えることができない。でも、誰かのために想って行動することは決して無駄じゃない」というある人の言葉が私にとって大切なものです。この言葉のように、自分の力を過信せず、いろいろな人と関わって考え方や視野を広げ、子どもたち一人一人が夢に向かってがんばっていく手伝いができる教員になりたいです。

菅先生の体験談はいかがでしたか。菅先生の話をもっと聞きたいという人は、ぜひ、声を掛けてみてください。菅先生、貴重なお話をありがとうございました。

## ・ ・ 3月の補聴器相談日 ・ ・ ・

3月 1日 (月) … 理研産業、岡崎ヒヤリング (中止)

3月15日 (月) … 理研産業、岡崎ヒヤリング、ナショナル補聴器、あいち補聴器センター

\* 場所：作法室 \* 時間：13:45～15:45

※ 緊急事態宣言の発令中は中止になります。



